



⑥ 商工・観光の振興について

基幹産業の一つである素麺産業の活性化を図るために「島原手延べそめん」のブランド化」を更に推進し、流通拡大に対して支援してまいります。各地区の商店街振興対策として、市民の利便性と賑わい創出のための環境整備や空き店舗を地域コミュニティの場として再利用するなど有効活用への支援に努めてまいります。

南島原市の持つ歴史的に価値の高い資源と、豊かな自然環境を魅力ある素材として活用し拠点性を高めるとともに、地域の魅力を体感する体験型観光を取り入れ、新規観光ルートの開発と関係機関との連携による観光の産業化を推進してまいります。

⑦ 道路整備事業について

南島原市は半島の奥に位置し、現在の交通網は満足できる状態ではありません。市民生活の向上を図るためには、域内交通の快適性を実現することが大変重要になります。生活基盤の向上のために、環境に配慮した幹線道路及びアクセス道路の整備・推進に努めてまいります。

市民の交流圏を飛躍的に拡大するためには、高速道路、地域高規格道路等の整備が重要と考えます。建設につ

きましては、県、国、国会議員への要望をさせていただいております。

現在の状況としましては、島原中央道路として、島原市秩父が浦町から下折橋町の4.5kmが整備中であります。また、国道・県道の改良状況や県への要望状況については、次に述べるとおりです。

現在の改良状況として

- 国道 2路線の3地区
- 国道 5路線の5地区
- 要望箇所として
- 国道 2路線の2地区
- 県道 2路線の3地区

がありま

次に平成18年度の市道改良計画について申し上げます。本年度の事業は旧町からの継続事業を主に取り組んでおります。

- 市道改良事業計画として
- 21路線 総事業費として9億2141万9千円を計上しております。

⑧ 教育関係事業について

新市の明日を切り開く人材育成に力を注ぎ、地域に活力を与え新しい文化を築いていくための教育施策を推進するとともに、この地域固有のキリシタン文化や各地域で受け継がれてきた伝統文化を大切に守り、ま



南島原市の18年度教育方針として、「南島原市教育委員会は、人間尊重の精神を基調として、人格の高揚を図り、市民の理解と協力と参画のもとに、本市固有の歴史と風土を受け継ぎ、生かし、個性豊かで国際社会に貢献できる人づくりに努める。教育に携わる者は、その使命感に徹し、自らの資質と指導力を高める努力を怠らず、相和して本市教育の充実発展に努める。」と掲げております。

学校教育は、時間をかけ、手をかけ、目をかけなければなりません。厳しい財政の中でも行政の基本的な責務として、できる限り充実に努めてまいります。

スポーツの振興は、健全で健やかな子どもを育成するためには必要な施策です。また、市民の融和を図り、健康を増進するような事業を推進することにより、明るく笑顔のあるまちづくりを目指してまいります。

郷土芸能や伝統工芸、郷土料理等を伝承する体験学習を取り入れ、親を尊敬し、郷土を愛する心を育み、先人を敬う心の学習を推進してまいります。

児童生徒の安全対策として、小中学校の校内や通学路などの安全確保に努め、地域で子どもたちを守る「一声運動」や「子どもパトロール」等を推進してまいります。

⑨ 以上のほかに取り組む施策として

私はまず最初に取り組むべきこととして、市民の意見を聴くことが大事だと考えております。そのため、誰でも参加して意見を述べる事ができる市民懇談会（タウンミーティング）を7月下旬から8月上旬にかけて旧町単位の8会場で実施いたします。

また、地元議員さんにもご出席をお願いして充実を図りたいと考えておりますので、その節はご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



現在、地方公共団体が直面している最も重要な課題は、行政改革だと言えます。厳しい財政状況の中で、地域にふさわしい公共サービスを提供する分権型社会システムに転換しなければならぬからです。

私は、18年度中に「行政改革推進本部」を設置し、簡素で効率的な南島原市の実現を図るため、行政改革に数値目標を設定し、徹底して取り組んでまいります。

防犯対策は、犯罪の対象になりやすい子どもや高齢者を犯罪から守る対策の強化が必要です。そのための施策として、地域安全運動の実施、広報活動等を通じた防犯意識の向上、防犯灯の設置等、環境整備を推進してまいります。

また、交通安全対策のための環境整備をすすめ、関係団体との連携を強化し事故のないまちづくりに努めてまいります。

防犯対策は市民の安全と生活を守るための重要な施策として、新市においては防災計画を策定し取り組まなければならない。緊急時の避難場所、ライフラインの確保及び避難誘導道路等の充実を図り、危機管理体制を確立・強化し、全市を網羅する広域的なハザードマップの策定についても検討を行い、自主防災組織等と連動し、市民の生活と安全を守り、災害に強いまちづくりの推進を図ってまいります。

市民の声を行政に反映するための施策として、現在、実施要領、実施時期等を検討させております。また、女性の社会参加向上対策として、市の協議会や委員会等の女性比率を高めてまいります。

男女共同参画の推進につきましては、本年度中に「南島原市男女共同参画推進懇話会」を設置し、平成19年度において「男女共同参画計画」を策定し推進を図ってまいります。

情報の公開につきましては、積極的に取り組んでまいります。

以上、平成18年度事業の概要について申し上げます。今後とも、市民の皆様のご意見をいただきながら、南島原市の建設に全力を注いでまいりますので、議員の皆様をはじめ市民の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。